

# Indonesia Weekly

2019年7月8日



(対象期間：2019/7/1～2019/7/5)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年7月5日)



## 【株式市場】

インドネシア株式市場は、週初は20カ国・地域（G20）首脳会議（サミット）での米中通商協議の継続合意を好感し上昇しました。その後は材料が乏しい中、堅調だった不動産株などに利益確定売りが見られ、上値の重い展開となりましたが、週間では上昇しました。スリ・ムルヤ二財務相は2日、今年の実質GDP成長率が前年比+5.2%程度にとどまる見通しを示しました。

2019/6/28	2019/7/5	変化率
6,358.63	6,373.48	+0.23%

## 【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年7月5日)



## 【債券市場】

2日に行われた国債入札では、国内投資家を中心に強い需要が見られ、発行予定額を上回りました。入札後は海外投資家からの強い需要が見られ、インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、週間でも利回りは低下しました。債券取引高も増加し、特に海外投資家からの資金流入が目立ちました。1日に発表された6月の消費者物価指数（CPI）上昇率は前年同月比3.28%と引き続きインドネシア中央銀行（BI）の目標範囲内となりました。

2019/6/28	2019/7/5	変化幅
7.368	7.228	-0.140

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年7月5日)



## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。週末の米雇用統計の発表を前にして、ルピアは小動きとなりました。5日に発表されたインドネシアの6月の外貨準備高は、前月の1,203億米ドルから上昇し、1,238億米ドルとなりました。これは6.8か月分の輸入と政府の対外債務支払いに相当し、BIは、マクロ経済と金融システムの安定維持に十分であるとしています。

2019/6/28	2019/7/5	変化率
0.7618	0.7658	+0.53%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイ

英国ブルーデンシャルグループ